

題名：横浜労災病院で胃癌手術を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	胃癌手術症例の短期・長期成績の後方視的検討 (-)
当院の研究責任者 (所属)	郡司 久 (外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	胃癌手術は近年、低侵襲化により大きな変化がもたらされた治療です。特に、2018年にロボット支援下胃切除が保険収載されたこと、各種臨床試験の結果において進行胃癌に対しても腹腔鏡手術が開腹手術と同等の成績を示したことによって大部分の胃癌手術が低侵襲手術の適応となっています。当院においても現在積極的にロボット支援下胃切除を行っており、良好な成績が得られておりますが、この結果を詳細に検討し、開腹手術や腹腔鏡手術と比較することによって現在の治療方針が妥当であることを証明できると考えております。
研究の方法 (利用する試料・情報)	【研究の対象】 2022年1月～2024年6月に当院外科で胃癌手術を受けた患者さん。 【研究の方法】 この研究は、上記の期間に当院外科において胃癌手術を受けた患者さんの病名、身体データ、手術データ(手術時間、出血量、在院期間、合併症など)、血液データなどを参照させて頂き、解析するものです。そのため、皆様に改めて検査や問診を御願ひすることはございません。電子カルテなどから下記のデータなどを収集し、胃癌手術の短期・長期成績を検討します。下記の情報は当院の研究者以外は利用しません。 【研究に利用する情報】 ・保険病名、年齢、性別、BMI(身長/体重 ²) ・手術情報：術式、手術時間、出血量、

	<ul style="list-style-type: none"> ・術後情報：初回排ガス確認日、合併症の有無、術後在院期間 ・病理結果：胃癌進行度（Stage など） ・血液データ：術翌日白血球数、術後第3病日 CRP、ドレーン AMY 値 ・外来情報：再発の有無、再発日、生存確認日 <p>研究実施期間： 2024 年 7 月～ 2029 年 12 月</p>
利用する試料・情報の 該当期間	2022 年 1 月～ 2024 年 6 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関に提供する予定はありません。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>電話：045-474-8111(代表)</p> <p>メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp</p> <p>担当者：郡司 久 (所属：外科)</p>
備考	